

平成30年度 戸田市教育研究集録

戸田市教育フェスティバル開催

平成31年1月8日(火)、戸田市文化会館にて「戸田市教育フェスティバル」が開催されました。今年度は、「これからの時代に必要な力と学びの変革」を共通テーマに、文部科学省の合田哲雄様と、経済産業省の浅野大介様をお招きし、御講演いただくとともに、トークセッションではICT CONNECT 21の寺西隆行様のコーディネートの下、熱い議論を交わしていただきました。

「これからの時代に必要な力と学びの変革」(共通テーマ)



講演 1

文部科学省 初等中等教育局
財務課長

合田 哲雄 氏

○我が国の学校教育のよさを引き出す

Society5.0の到来による社会構造の変化は、創造性と社会的公正という2つの価値の相克を生じさせています。これ乗り越えるには、自分の足で立って自分の頭で考える力の習得を目指してきた我が国の学校教育のよさを引き出し、さらに進化させる必要があります。

○人間ならではの強みを育てるために

企業から与えられた目的を最も効率的に実現する力が求められていた過去の社会構造のもとでは、学校はチョークアンドトークによって教科書を正確に大量に記憶させる教育が行いがちでした。今後は、AIに目的を与えたりAIが解なしとするものを解くという人間ならではの強みが求められます。具体的には、教科書や新聞等の内容を構造的に正確に読み取る力、教科固有の見方・考え方を働かせて各概念を軸に知識を体系的に理解する力、思考し表現する力や、対話や協働を通じて納得解を産み出す力などが必要です。そのためには、学校教育は知識・技能を土台にした資質・能力の育成を重視し、どのような学び方が適切かを考える必要があります。次期学習指導要領はこのような理念を土台としています。



講演 2

経済産業省 商務情報政策局
商務・サービスグループ
サービス政策課長兼教育産業室長

浅野 大介 氏

○「ワクワクと探究」が主役の教育へ

AIに置き換えられない力とは、ワクワクしながら自ら課題を見つけ、探究し、一定の答えを見つけてなんとかなるまで繰り返しやってみる力です。数式から一歩外れたところにある世の中の事象について楽しみながら答えにたどり着ける力とも言えます。

中学校までは一見世界トップクラスにあるものが高校や大

学で伸びなくなるのは、小・中学校にも原因があり、ものを探究する力やメンタリティが育まれていない可能性があります。世界の潮流はプロジェクト型の学びであり、教科学習も個別最適化やSTEAMの流れにあります。学びの楽しさや意義を与えるようなリアルなプロジェクトを通じて多様な力を身につけられるような学びの再設計が必要です。

○学びと社会の連携

学校教育と民間教育の重なりを豊かにすることで教育イノベーションが起きます。また、自動車やエネルギー、金融などの様々な分野の産業界が学校に入り、世界が直面する課題のテーマを伝えることも有意義です。民間教育の知恵を学校教育に取り入れるとともに、産業界が自ら学校に入って貢献していくことが大事です。

トークセッション「文科省・経産省が見つめる教育の未来」

文部科学省 合田 哲雄 氏 経済産業省 浅野 大介 氏



進行:
一般社団法人 ICT CONNECT 21
事務局次長

寺西 隆行 氏

会場の教師を対象としたアンケート結果をベースに、これからの授業の変革、働き方改革、社会との連携の在り方等について議論が行われました。その中で、切り込む角度は違っても、文部科学省と経済産業省は共通した未来像を描き、子供たちに必要な教育について思いを1つにしていること、教師の多忙化の問題については、教師の専門性である質の高い授業を行うための業務に絞っていくべきことなどが共通の意見として出されました。また、学校教育と社会とをつないでいくための双方向的なアプローチについても議論がなされました。

戸田市教育委員会



▼戸田市教育委員会公式 Facebook

<https://www.facebook.com/todaedu>